

抜粋版

参考資料 2

Beyond EXPO 2025

～万博後の大阪の未来に向けて～

骨子(案)

2025年9月12日

大阪府・大阪市

2. 基本的な考え方・めざす都市像

- 大阪府・大阪市としては、新たな成長戦略である「Beyond EXPO 2025」の策定・実行を通じて、副首都として必要な「中枢性・拠点性」や「東京とは異なる個性・新たな価値観」を向上させ、東西二極の一極を担う「副首都・大阪」の早期実現をめざす
- 具体的には、万博で高まった「民のチャレンジ」「都市プレゼンス」「発信力・求心力」「グローバル力」をオール大阪で更に磨き、副首都・大阪の実現を10年前倒し(2050年代の目標を2040年代へ)をめざす

■基本方針・めざす都市像■

【基本方針】 **副首都・大阪の早期実現**

【めざす都市像】 **世界に伍する経済力・都市力を有し、唯一無二の魅力がある都市**

➡ <目標> 「副首都・大阪」の実現(目標:2050年代、経済規模:名目GDP80兆円)を2040年代へ、10年前倒し

【重点分野】 世界に伍する経済力・都市力を実現

経済力

◆ 大阪独自の強みを活かした次世代産業にチャレンジするイノベーション先進都市

都市力

◆ 大阪独自の魅力を発揮したワクワク・オモロイを掻き立てるエンタメ都市

【副首都を支える基盤】 経済力や都市力を支える土台づくり

人材力

◆ グローバル人材やクリエイティブ人材が集積・輩出するエネルギッシュな拠点都市

まちづくり・
都市基盤

◆ 「ほっとかれへん」「やってみなはれ」気質を活かしたフレンドリーな都市

◆ 成長を支える都市機能を備え、首都機能のバックアップを果たす都市

Well-Being

「居心地の良い大阪」へ

大阪独自の強みを活かした次世代産業にチャレンジするイノベーション先進都市

基本的な考え方

民のチャレンジ

- 万博を機に、技術革新への挑戦
 - ・再生医療、ヘルスケア、AI・ロボットなどの分野で、革新的技術の社会実装にチャレンジ
 - ・中小企業も、リボーンチャレンジで432社が先端技術を披露
- 海外とのビジネス交流が大幅に拡大
 - ・万博を機に海外からの訪問団が来訪し、ビジネス交流が活発化(海外企業のべ約4千社)
 - ・GSEやJapanHealthでは、世界的なスタートアップや大企業、投資家等が集結

大阪の強み

- ライフサイエンス
 - ・中之島クロス、健都、彩都の3拠点を中心に、ライフサイエンスの世界的クラスターを形成
 - ・優れた大学や研究機関、大手製薬企業等が立地
- カーボンニュートラル
 - ・水素等・電池・バイオものづくり分野などで、国内トップレベルの企業や、研究機関・支援機関等が集積

市場の伸び

- 2050年の市場予想
(医療・ヘルスケア分野)
 - 世界 ②約249兆円 → ⑤約527兆円
 - 日本 ②約 45兆円 → ⑤約128兆円
- (カーボンニュートラル分野)
 - 世界 ②約5兆円 → ⑤約100兆円
 - 日本 ②約0.9兆円 → ⑤約 14兆円

成長が見込まれる産業分野において、「民のチャレンジ」を後押しすることで、大阪・関西から次世代産業を生み出し、世界市場の獲得をめざす

取組みの柱

チャレンジを後押しする
支援の充実

イノベーションを創出するための
拠点の形成

国内外からの
投資を呼び込み

施策の方向性（主なもの）

チャレンジを後押しする支援の充実

- ◆最先端技術の産業化に向け、研究開発段階から実装化、産業化までを一気通貫で支援するオール関西の体制づくり
- ◆最先端産業を支える基盤技術の高度化と生産性向上の促進
- ◆次世代通信、AIや量子技術等の活用の促進

イノベーションを創出するための拠点の形成

- ◆中之島クロス、健都、彩都を核とした世界をリードするライフサイエンス・クラスターの形成
- ◆水素・アンモニア等、ペロブスカイト太陽電池・蓄電池、バイオものづくりの分野で、カーボンニュートラル先進都市を支える産業の集積
- ◆世界をめざすスタートアップ・エコシステムの構築
- ◆大阪を中心に関西各地を結ぶ、空飛ぶクルマの運航ネットワークの構築

国内外からの投資の呼び込み

- ◆万博のソフトレガシーとしてのライフサイエンスなどをテーマとした国際会議の開催に向けた検討
- ◆大阪・関西のスタートアップの国際的プレゼンスを向上するカンファレンス等の開催
- ◆大阪への企業立地や再投資の促進
- ◆国際金融都市OSAKA戦略・新アクションプラン【策定中】
- ◆海外との戦略的なビジネス交流の拡大と体制強化

大阪独自の魅力を発揮したワクワク・オモロいを掻き立てるエンタメ都市

基本的な考え方

現状

<訪れたい世界の都市ランキング>

大阪: 16位
東京: 3位

<滞在日数>

大阪:平均宿泊数は3~4日
東京:平均宿泊数は約 5日

<観光消費額>

国内観光客 大阪:3.0万円 東京:2.6万円
インバウンド 大阪:9.2万円 東京:15.6万円

※出典:英1-Enter-Tainer-ナショナル「訪れたい世界の都市100選」(2025年)

※出典:大阪:大阪観光局2023~2024年度調査、東京:東京都2023年度調査より引用

※出典:観光庁2024年度調査より引用

万博レガシーの継承

- 万博レガシーを活かした魅力づくり
 - ・万博期間中、会場内外では、様々なイベントが連日行われ、非日常空間を演出
 - ・万博後においても、万博で世界に発信された大阪の魅力、ブランドイメージの継承が必要
- 世界に通じる多彩な魅力の創出
 - ・新たな価値や都市魅力の創出が必要

日本を代表する広域観光拠点

- 豊富な観光資源と国際インフラ
 - ・京都や奈良等の人気観光地が1時間圏内
 - ・USJ、道頓堀、なにわ食文化
 - ・大阪城、百舌鳥・古市古墳群などの文化・歴史遺産
 - ・西日本の空のゲートウェイである関西国際空港

増加が見込まれる旅行者

- 多くの来阪外国人旅行者など
 - ・来阪外国人旅行者数
大阪④1,409万人➡⑩検討中(目標)※
全国④3,687万人➡⑩6,000万人(目標)
 - ・延べ宿泊者数(国内)
大阪④3,204万人➡⑩検討中(目標)※
- ※⑩目標については、都市魅力創造戦略2030で検討中

大阪ならではの魅力を一段と高め、世界の中での都市プレゼンスを高めるとともに、観光消費の拡大と地域経済への波及をめざす

取組みの柱

国際観光都市の実現
都市魅力ブランドの確立

新たな都市魅力
観光消費の拡大

地域経済への波及
府内周遊の促進

都市魅力ブランドの確立

～ I R を核とした夢洲における新たな国際観光拠点の形成～

◆世界最高水準の「成長型IRの実現」(夢洲第1期)

◆万博の理念を継承した夢洲2期開発

～世界水準のMICE都市の形成～

◆官民一体となった世界トップクラスのMICE都市の形成

～クリエイティブなまちの形成～

◆クリエイティブ人材を育て、引きつける都市の魅力づくり

～大阪の個性や大規模アリーナを活かした世界水準のエンターテインメント～

◆大阪の個性を活かした世界水準のエンタメ、食、文化芸術、スポーツなど、多彩なコンテンツの創出

◆大規模アリーナ等を活かした記憶に残る魅力空間の創出

◆国際都市にふさわしいおもてなし力の充実

観光消費の拡大（ナイトコンテンツ）

◆御堂筋におけるナイトコンテンツの定着化

◆水都大阪の特性を活かしたナイトコンテンツの充実

◆大阪のナイトカルチャーの充実

◆ナイトコンテンツの充実に向けた環境整備

府内周遊の促進

～多彩なコンテンツを活かした府内周遊の促進～

◆文化・歴史遺産等豊富な地域資源を活用した周遊性の向上

◆周辺山系と里山における癒しと賑わいの空間づくりの検討

◆民活も視野に、青少年海洋センターなどの再整備と隣接地域の一体的な活性化の検討

◆食や四季折々の自然など、年間を通じた大阪の魅力発信

～ゲートウェイ機能の発揮～

◆関西・西日本との連携強化と交通ネットワークの充実

グローバル人材が集積・輩出するエネルギーな拠点都市

基本的な考え方

労働人口の減少と外国人材の増加

- 労働人口の不足
 - ・労働力不足が顕在化し、2040年に全国で1,100万人が不足
 - ・新たな労働力の確保が必要
- 外国人労働者の増加
 - ・外国人労働者は貴重な働き手になっており、近年増加傾向
 - 大阪:⑰7.2万人→⑳17.5万人

技術革新の進展

- 仕事に必要なスキルの変化
 - ・AI、ロボットなどの技術が急速に進化。
 - ・人が対応する仕事は、「新たな価値を創造する仕事」などにシフト
- ・新たな時代に不可欠な一人ひとりのキャリアアップが必要

次世代の育成

- グローバル人材の育成
 - ・グローバル化が進む中、国際社会で活躍できる人材育成が必要
- 産業人材の育成
 - ・産業構造の変化に柔軟に対応し、成長分野に応じた産業人材の育成が必要
- 選択できる教育環境の充実
 - ・家庭環境等にかかわらず、子どもたちが進みたい道を選択できる教育環境の充実が重要



労働力不足や技術革新に対応するため、国内外からの新しい人材確保と次世代の人づくりを推進



取組みの柱

国内外からの
人材確保

大阪から世界に羽ばたき、大阪を支える
人材育成

国内外からの人材の確保

～労働力不足に対応し、多様な人材が共生・活躍できる仕組み～

- ◆人材に関するオール大阪の会議体の設置
- ◆外国人材の採用から育成・定着まで切れ目ないキャリアサポート
- ◆関西空港における外国人材共生検討会議(案)の設置
- ◆多様な人材の活躍支援拠点の整備
- ◆府立技専校における在職者訓練の機能拡充

～グローバル人材・企業の進出を促す環境～

- ◆インターナショナルスクールの誘致
- ◆外国人受入れ病院の拡充
- ◆都心における高質な住機能の確保
- ◆海外企業の進出を円滑にする規制緩和

大阪から世界に羽ばたき、大阪を支える人材の育成

～成長分野の発展を支える産業人材の育成～

- ◆実業系高校におけるビジネス人材(観光・IT分野等)の育成

～子どもたちが進みたい道を選択できる教育環境の整備～

- ◆教育無償化に向けた継続的な取り組み
- ◆府立高校の建替え、大規模改修等の実施

～次代におけるグローバル人材の育成～

- ◆府立高校改革によるグローバル人材の育成
- ◆大阪公立大学の国際化推進
- ◆大阪公立大学工業高等専門学校での人材育成